

ハイグレード
モデル

カシオカラーグラフ関数電卓のご案内



fx-CG50-N

特徴 5

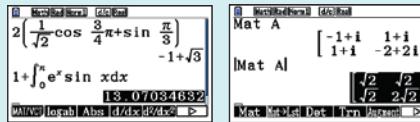
2Dグラフ

多彩な関数グラフを描画して解析することができるので、数値や式などを効果的に調べることができます。

特徴 1

理数系演算に ⇒充実の関数機能

- 基本から難解な関数まで演算をサポート
- 数学自然表示機能で入力ミスを排除!!

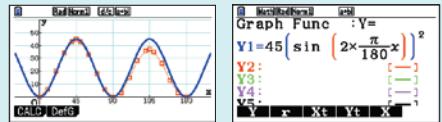


★分数、無理数、行列、微積分表記等も可

特徴 2

物理・化学実験に ⇒データ解析機能

- 大容量：999 データ ×26 本 ×6 面
- 測定データをその場ですぐにグラフ描画確認できるので、実験測定のミスを撲滅!!



★理論値との比較も容易

特徴 3

USBマストレージで、 PCとデータ共有

- CSV形式で、PCの表計算とデータ互換可
- 電卓画面をイメージ出力+専用電卓キーフォントで、レポート作成をサポート



★キーフォント

特徴 4

プログラム、画像取込等で、 研究サポート

- 電卓専用プログラム機能
- 平面幾何機能 (CASIO 独自アプリ)
- ピクチャープロット(画像取り込み)など



★プログラム機能

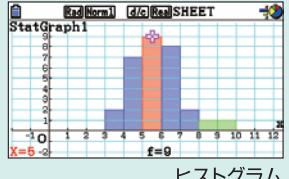
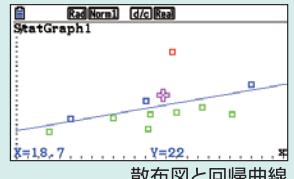
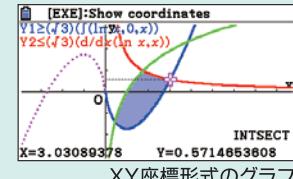
★ピクチャープロット

© soupstock - Fotolia.com

特徴 6

3Dグラフ

内蔵されたテンプレートと回転体グラフ描画機能の採用で簡単に描画。さらに立体を回転させて様々な角度から確認でき、形状の理解も容易です。



ヒストグラム

特徴 7

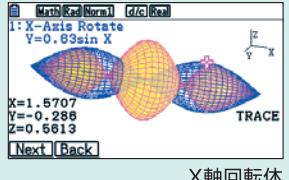
Pythonを搭載

内蔵されたテンプレートと回転体グラフ描画機能の採用で簡単に描画。さらに立体を回転させて様々な角度から確認でき、形状の理解も容易です。

テンプレートで描画



回転体グラフ描画



特徴 7

プログラミングの基礎がわかるPythonを搭載

RAM容量 最大61,000バイト
1,200超 関数・機能

384×216ドット
カラー表示

USBケーブル・
3ピンケーブル同梱

最大 16MB
フラッシュメモリー

fx-CG50-N

組合員価格 ￥15,278(税込)

※表示は全てハメコミ合成です。また商品の色調は印刷のため実物と異なることがあります。

お申し込み
お問い合わせ

名古屋工業大学生活協同組合 Tel.052-731-6061

カラーグラフ関数電卓 fx-CG50-Nを推薦します

名古屋工業大学 電気・機械工学専攻
教授 水野 直樹

大学工学部の勉学や研究においては、実験データや計算結果を合理的に検討し、それに基づいてレポートや論文を書くことが求められます。

そのため、多くの工科系大学では初年次教育の一部としてコンピュータを用いたデータ解析やレポートの書き方などの教育が行われています。

そこでは、皆さんが高校の情報授業で一部体験したことのあるワードプロセッサによる文書作成や表計算ソフトによるデータ集計の基礎を、多くの場合、大学のコンピュータ教室に用意されたパーソナルコンピュータを用いて確認し、学年進行に伴って必要になるデータ処理などをあらかじめ身に付けておくことが求められます。

しかし、実際に多くの実験科目で実験データを収集し、データの処理によってレポートをまとめることを要求される高学年（3年時以降が多いと思います）になって、初年次にパーソナルコンピュータを用いて体験した情報処理をすぐに思い通りに活用することは、たとえノートパソコンなどを所有していても容易ではありません。

そのため、実験終了後にデータ解析を行うときに初めて、実験条件の設定やデータ収集方法に問題があったことに気づくことがあります。

実験には特別な実験装置や一般に複数の協力者が必要であるため、実験後にデータの不備があった場合、十分なレポートを完成させることはとても困難です。

このような事態を避けるには実験中にも収集したデータを検討し、もし、問題が見つかった場合に、その場で実験条件の変更やデータの再収集ができることが望ましいことは言うまでもありません。

しかし、実験中のデータを数値として見るだけで問題点に気づくのは困難です。もし、データの工学的な扱いで有効なグラフ化などをすぐに行うことができれば、異常データに気づいたり、さらには実験データの傾向を把握することができ、実験中であっても結果の考察を同時進行で進めることができます。

データのグラフ化や解析は、現在ではEXCELなどのパソコンソフトで行えますが、実験環境ではパソコンを利用しづらい場合が多く、また、実験中にパソコンを破損してしまう可能性もあります。

このような場合にグラフ化機能を持った「グラフ関数電卓fx-CG50-N」のようなツールが手元で活用できれば、実験の失敗を未然に防ぐことができるだけでなく、より有意義な実験を行うことが可能になります。

このfx-CG50-Nは単にデータをグラフ表示できるだけでなく、カラー表示で分かりやすく、さらにデータ解析機能もレポート作成時に十分に役立つものをそろえています。

また、実験室のように必ずしも情報機器の利用環境として理想的でない場所でも、小型で邪魔にならず、また、ノートPCなどと比較しても堅牢で故障しにくい特性を持っています。もちろん、ノートPCなどと比較して、表示が小さく、キーボードの文字も限られていますが、それを補って余りある機能を備えています。

日本の工学教育では、関数電卓とノートPCの中間的なツールの活用があまり行われていませんが、欧米の工学教育ではこのような高機能のグラフ関数電卓の活用が広く行われています。皆さんも、世界の工学部学生に引けを取らない能力を身に付けるためにも、グラフ関数電卓を活用してみてはどうでしょうか？

最後になりますが、この「グラフ関数電卓fx-CG50-N」は最近注目されているデータサイエンス分野で標準的なプログラミングといつても良い「Python」と呼ばれる言語のプログラミングの学習に役立つ機能や、この関数電卓内で解析したデータや作成したPythonプログラムをさらに活用するために、PCとの間でデータを交換する機能があるなど、ここでは説明しきれないほどの豊富な機能を持っています。

是非、実物に触れて、その機能を体験し、大学での勉学に役立てる選択をしてください。